

## 業界最多のショールームに「ユニバーサルマナー検定」導入 5月までに全ショールームアドバイザーが受講 全国規模での受講は住宅設備機器業界では初

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：渡辺岳夫）は、2021年5月に成立した改正障害者差別解消により、民間の事業者も障害者への合理的配慮の提供が義務付けられることを受け、ショールームアドバイザーを対象に株式会社ミライロ主催の「ユニバーサルマナー検定 3級」の導入を決定しました。5月までにショールームアドバイザー約800名全員の受講完了を予定しています。全国規模での受講は住宅設備機器業界では初めてとなります。



（左：ショールームに設置される耳マークのイメージ/右：車椅子の接客イメージ）

「ユニバーサルマナー検定」は、高齢者や障害者など多様な人々の視点に立ち、適切な理解のもと行動する知識と技術を習得する検定として、株式会社ミライロが主催するものです。

タカラスタンダードは、全国に業界最多の約170カ所のショールームを運営しており、約800名のショールームアドバイザーがお客さまの暮らしのお悩みを解決する商品を提案しています。そしてこの度、どのようなバックグラウンドをお持ちのお客さまにも配慮した適切なご案内をできるようになるために、「ユニバーサルマナー検定」の導入が決定しました。

2月に約200名のチーフ、フロアリーダーの受講が完了しており、残り約600名のショールームアドバイザーも5月に受講を予定しています。また、今後、各ショールームに「耳マーク」を掲示し、お客さまの希望に応じて筆談などの方法で対応できるよう電子メモパッドをご用意。全ての方に気軽にお越しいただけるショールーム運営を通して、「すべての人の暮らしを、より心地よくする」という経営理念を実現していきます。

タカラスタンダードはこれからも、皆さまの暮らしに密着する企業として、人権・多様性を尊重する社会の実現に貢献します。

## 【ご参考資料】

### ■タカラスタンダードのライフサポート商品

タカラスタンダードでは、車椅子をお使いの方にも楽な姿勢でご利用いただけるユニバーサル仕様の商品もご用意しています。（展示は一部ショールームで行っております。）

#### ・ライフサポートミニキッチン

車椅子に座ったまま、楽な姿勢でお使いいただける、ユニバーサル仕様のキッチン。



手で操作しやすい、LED 照明・換気扇のスイッチ。つかまり立ちや体を引き寄せるなど、さまざまな動作をサポートするハンドバー。



楽な姿勢で手が届く浅型シンク。つかみやすい大型ハンドルのシングルレバー水栓。

#### ・ライフサポート洗面化粧台

洗練されたデザインと、ユニバーサル仕様を兼ね備えた洗面化粧台。



洗面台の側面は斜めにカットし、車椅子で回転時に引っ掛からないように配慮しています。



座ったまま、手の届きやすい位置に、スイッチとコンセントを配置。ミラーの高さも、座ったままでも見れる位置に。

#### ・ぴったりサイズシャワーユニット

車椅子が回転できる十分な広さを確保した、付き添いの方とも入室できる介助用シャワールーム。



### タカラスタンダードのSDGsに関する取組み

商品を通じた貢献、地球環境への貢献、コミュニティへの貢献など、SDGs の目標達成にも貢献し、持続可能な社会の実現を目指しています。

<https://www.takara-standard.co.jp/company/csr/>

#### <タカラスタンダードとは>

1912年創業。「水まわりって、大切だから」をブランドメッセージに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

[設立：1912年5月30日（創業110年） / 売上高<連結>：2,115億円（2021年度） / 従業員数<連結>：6,298名（2022年3月末時点）]